



「おみこし、ワッショイ！」

5/3 そのべ龍神まつり

広報

# なんたん

もくじ

- 2 交通事故ゼロをめざす ～南丹市交通安全計画を策定～
- 6 南丹市の財政状況をお知らせします
- 8 写真グラフ ～春のイベント大集合～
- 10 行政トピックス／この道ひと筋、叙勲、褒章、表彰
- 12 いきいき南丹／ぶらりなんたん ～九品寺～

6月号

2007年 Vol.18

# 交通事故ゼロを めざす

## —南丹市交通安全計画を策定—

南丹市では、市内における交通を取り巻く環境の変化、交通状況や地域の実状を踏まえ、安全・安心な交通社会を実現するため、「南丹市交通安全計画」を定めました。交通事故ゼロをめざしてさまざまな取り組みを行っています。

### ●交通安全運動を実施

五月十一日から二十日にかけて、春の全国交通安全運動が実施されました。今回の交通安全運動では、特に高齢者

この南丹市交通安全計画に基づき、関係機関・団体においては、交通の現状や地域の実情などを踏まえ、交通の安全に関するさまざまな施策が実施されます。

市では今年一月の南丹市交通安全対策審議会（大道芳夫会長）の答申を受けて、平成十八年度から平成二十二年度までの五年間の交通の安全に関する、総合的かつ長期的な施策の大綱として、「南丹市交通安全計画」を定めました。



▲シートベルト・チャイルドシートの着用啓発



▲交通安全を啓発するチラシを配布

南丹市の高齢化率は約二十八割（平成十九年四月一日現在）と高く、高齢者が安全に安心して外出や移動ができるような交通社会の形成が求められています。また市では、子どもからお年寄りまで多くの方が手軽に利用される自転車についても、交通ルールを守った正しい利用について、交通安全教育を実施しています。

の事故防止や自転車のマナー向上を呼びかけました。南丹市では、南丹・船井交通安全協会の主催による、交通安全パレードが実施され、市内各所で交通マナー向上による事故防止を呼びかけたほか、交



▲市内を啓発して回った交通安全パレード



▲6月1日に行った啓発活動

## ■道路を横断するときの注意



青信号でも車が来ないことを確認して横断歩道を渡りましょう。



横断禁止場所では道路を渡ってはいけません。

## ■自転車を利用する際の注意



一時停止標識のある場所や見通しの悪い交差点では、必ず止まって左右の安全を確認してから通行しましょう。



交差点では信号を必ず確認し、しっかりと守るようにしましょう。

## ■シートベルト・チャイルドシートの着用



後部座席でもシートベルトを着用しましょう。子どもを守るため必ずチャイルドシートを使用しましょう。

### ●道路を横断するときは

#### 左右を確認してから

交差点などで道路を横断する際には、必ず左右を確認してから渡りましょう。また、自転車に乗っているときでも見通しの悪い交差点や、一旦停止の標識がある場合は、必ず止まって、左右の安全を確認してから通行しましょう。

### ●シートベルトが基本

昨年十月に南丹市が実施した調査では、運転席九九・二割、助手席九〇・一割の方がシートベルトを着用されていました。しかし、チャイルドシートの着用率は二八・五割

にとどまっています。こうしたことから、シートベルトおよびチャイルドシートの着用率一〇〇割を目指して、六月一日に、園部町宮町交差点付近で街頭啓発を行いました。

街頭啓発には、交通安全協会南丹支部役員をはじめ、南丹警察署員や市職員が参加し、後部座席も含めた着用の推進を啓発しました。

交通事故は、自分自身が十分注意をしても起こってしまう可能性があります。そうしたときに被害を最小限に食い止めるために、シートベルトなどを必ず着用するようにしましょう。

特に、着用が義務化されていない後部座席においても、着用することで死亡事故に至ることが少なくなります。後部座席でのシートベルトの着用と、お子さんはチャイルドシートに乗せてあげましょう。

### ●南丹市における

#### 交通事故の現状

市内における道路交通事故の発生件数および負傷者数は、過去十年間で、平成十一年に発生件数二百十八件、負傷者

### チャイルドシートの購入補助

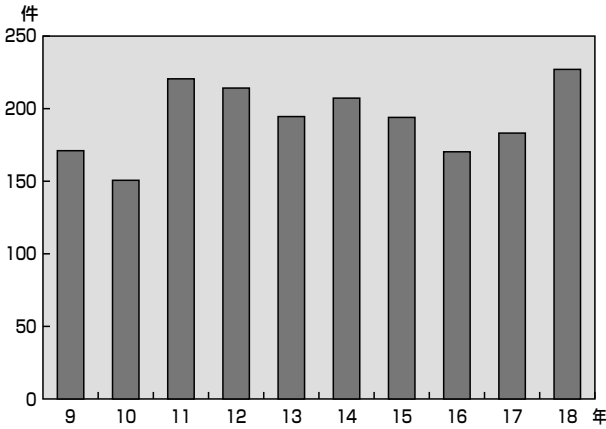
南丹市では、市内に居住されている方で、チャイルドシートを購入された満六歳未満の乳幼児の保護者を対象に、一万円を上限とする補助金を交付しています。補助の内容、申請について詳しくは、南丹市福祉事務所（Ⅷ〇七七一―一八八―〇〇〇七）までお問い合わせください。

図①

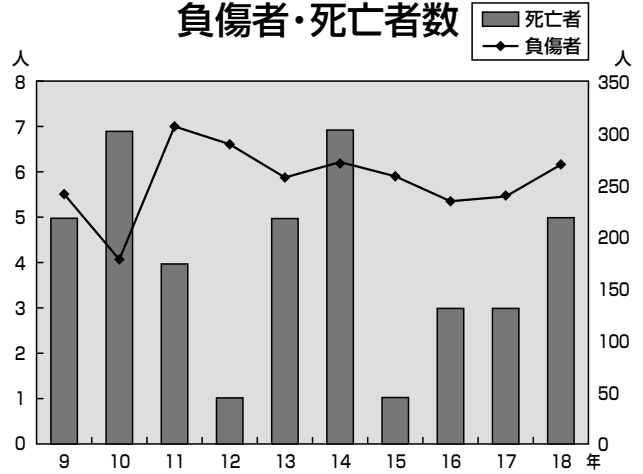
# 南丹市における交通事故の推移

(京都府警察本部 調べ)

交通事故発生件数



負傷者・死亡者数



数三百九人を記録しました。また平成十八年には発生件数二百三十二件、負傷者数二百六十九人と交通事故発生件数が増えています。(図①)

死亡事故については、過去十年間で一番多いのが、平成十年、平成十四年の七人で、一番少ないのが、平成十二年、平成十五年の一人です。年平均、四・一人の死者数で、昨年までの十年間でゼロを記録したことはありませんが、交通安全に向けた取り組みの成果が出てきていると思われる。

●**交通事故ゼロを目指す**

「南丹市交通安全計画」では、交通事故による負傷者を平成二十二年までに百五十人以下、また、死者数を限りなくゼロにすることを目指しています。

特に、被害者やその家族だけでなく、加害者にとってもその人生に多大な影響を及ぼす交通死亡事故は絶対に起こしてはいけません。

昨年は、痛ましいことに、当市管内で五人の尊い命が交通事故により失われ、二度の

交通死亡事故多発警報を発令しました。今年に入ってから、幸いなことに交通事故による死者はありません(六月一日現在)が、市では関係機関との連携により、絶対に交通事故による犠牲者を出さないという強い意志の下、交通安全の取り組みを進めていきます。

## ●南丹市交通安全計画の目標と取り組み(抜粋)

### ■本計画における目標

交通事故による負傷者もなくし、市民を交通事故の脅威から守ることが究極の目標ですが、年間の負傷者数を平成二十二年までに百五十人以下とすることを目指しています。

### 交通安全秩序の維持

シートベルトおよびヘルメットの着用の徹底、交通弱者保護の推進、飲酒運転の根絶、暴走運転の根絶

### 救助・救急活動の充実

また、交通事故による死亡者数を限りなくゼロに近づけることを目指しています。

救助・救急体制の整備、救助・救急に関する教育の充実

### ■今後の主な取り組み

#### 道路交通環境の整備

安全・安心な道路を整備、公共交通機関利用の促進、災害に備えた道路交通環境の整備

#### 損害賠償の適正化をはじめとした被害者支援の推進

無保険(無共済)車両対策の徹底、交通事故相談所の活用、自動車事故被害者等に対する援助措置の充実

#### 交通安全思想の普及徹底

幼児から高齢者に至るま



南丹・船井交通安全協会会長  
寺井 昌夫さん

南丹・船井交通安全協会は「南丹・船井地区において、安心して安全な交通社会の実現を目指し、南丹警察署・自治体と連携をしながら、住民の交通安全意識を高めるとともに、交通事故被害者の支援救済を行う」ことを目的に、各地域から選出された役員、評議員によって活動を行っています。

昨年4月に発足した交通安全協会のこれからの活動として、高齢者の事故や自転車の安全走行に重点をおいた住民参加型の地域別啓発活動を行うとともに、警察や自治体など各関係機関と連携をとりながら、交通事故による死亡者を限りなくゼロに近づけるために活動を行っています。

昨年度は交通事故により、南丹・船井地区で7人の尊い犠牲者が発生しました。今年は「交通事故0をめざそう」をスローガンにしています。地域のドライバーの皆さまには、前後の席のシートベルトの着用を行っていただき、笑顔でゆとりの安全運転をしていただけるようお願いしています。



▲信号・横断歩道が少なく、横断者の事故が多い府道19号



▲左折時は通行者の巻き込みに注意



▲夜間の歩行者事故が多い国道9号沿い

安全で安心な交通社会の実現に向けて



南丹警察署交通課課長  
香島 博さん

南丹市は高齢者の交通事故による死傷率が京都府に比べて高い（南丹市で約15%、京都府で約10%）地域です。また、南丹市は高齢者のドライバーが多いため、今後、高齢者ドライバーによる事故も増えることが予想されています。高齢者の方が運転される際には、自身の視力や聴力などの体の衰えと、それに伴う判断力の衰えをしっかりと理解して、無理をしない運転を行ってください。

高齢者に限らず、運転をされる皆さんも地域の安全な交通を守るために、また他人を傷つけるような事故を減らすため、安全運転を心掛けてほしいと思います。

南丹警察署は、昨年4月から旧美山町を含めた南丹市・船井郡が管轄となりました。市民の交通安全を守るため、高齢者の交通安全や自転車マナーの啓発、飲酒運転撲滅の活動を進め、市民が安心してできる交通対策を進めていきたいと思っています。



▲国道9号への流入車輦が多い南丹市園部町地内の都市計画道路



▲二輪車の走行では昼間の点灯が必要

# 南丹市の財政状況を お知らせします

(平成19年3月31日現在)

単位未満四捨五入

## ■歳入

区分	予算額	収入済額	収入率
地方交付税	96億8,526万円	96億8,526万円	100.0%
市債	43億4,100万円	7億7,400万円	17.8%
市税	40億2,379万円	39億2,339万円	97.5%
国庫支出金	24億3,192万円	6億3,530万円	26.1%
府支出金	14億1,622万円	5億3,885万円	38.0%
繰入金	10億5,857万円	0万円	0.0%
地方譲与税	4億9,506万円	4億9,506万円	100.0%
その他	24億6,514万円	22億1,131万円	89.7%

### 歳入

予算額 259億1,696万円  
収入済額 182億6,317万円  
収入率 (70.5%)

## 一般会計 予算の執行状況

皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるかを知っていただくため、六月と十二月の年二回、財政状況を公表しています。

今回は、平成十八年度予算の執行状況、市民負担の状況などについてお知らせします。

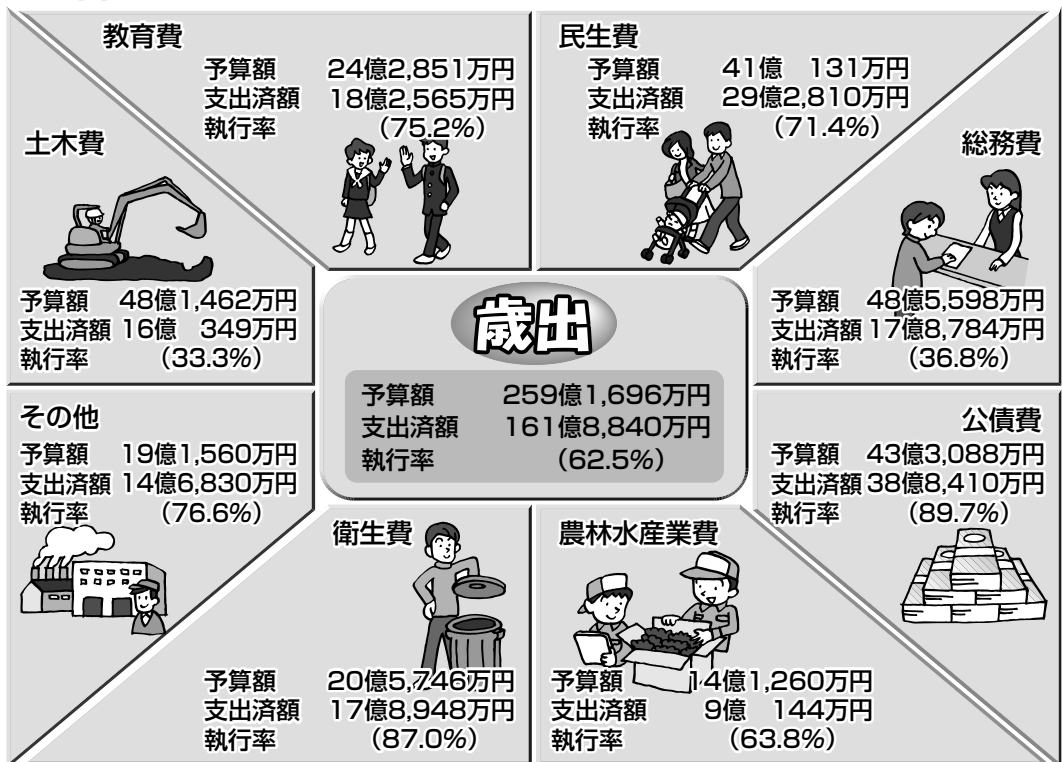
なお、現金の未収や未払いの整理を行うために、会計年度終了後の四月一日から五月

三十一日までの期間が出納整理期間として設けられています。そのため、三月三十一日現在の執行状況の数値については、決算額と異なるものがあります。

## ■歳出

平成十八年度一般会計の予算の執行状況は、歳入が予算額二百五十九億千六百九十六万円に対し、収入済額百八十二億六千三百七十七万円であり、収入率は七十・五%となっています。

また、歳出は予算額二百五十九億千六百九十六万円に対し、支出済額が百六十一億八千八百四十万円であり、執行率は六十二・五%となっています。



## 市の借入金

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを、次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借り入れるものです。

**借入現在高 666億2,155万円**

**一般会計 348億 947万円**

**特別会計 318億1,208万円**

**市民1人当たりの借入金 1,863,592円**

うち交付税で補てんされるのは370億円(56%)で、実質の市民1人当たりの借入金は826,032円となります。

※介護保険事業特別会計分を除く

## 市民の負担状況

1世帯当たりに使われる市のお金  
1,942,655円

市民1人に使われる市のお金  
724,970円



1世帯当たりが負担する税金(市税)  
301,611円



市民1人が負担する税金(市税)  
112,557円

※平成19年3月31日現在の世帯数と人口を基にしています

区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	34億2,652万円	28億4,624万円	83.1%	31億1,626万円	90.9%
老人保健事業	41億2,000万円	34億9,116万円	84.7%	38億 453万円	92.3%
介護保険事業	28億8,335万円	23億4,621万円	81.4%	23億3,983万円	81.1%
市営バス運行事業	1億1,143万円	4,061万円	36.4%	3,694万円	33.2%
簡易水道事業	15億8,610万円	6億1,630万円	38.9%	8億2,678万円	52.1%
下水道事業	40億2,047万円	8億3,281万円	20.7%	24億4,199万円	60.7%
商品券事業	5,635万円	2,507万円	44.5%	1,306万円	23.2%
土地取得事業	3億9,597万円	3,444万円	8.7%	3,310万円	8.4%

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てる場合に、

特別会計があります。一般会計とは別に経理する必要がある会計です。八つの

## 特別会計予算の執行状況

### ■上水道事業会計

収益的収支(事業の運営に伴う収入と、それに要した経費の収支)

収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
4億4,283万円	4億4,605万円	100.7%	4億 30万円	3億7,151万円	92.8%

資本的収支(施設整備に要した経費と、賄った財源の収入)

収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
5億7,648万円	5億8,800万円	102.0%	12億1,304万円	10億2,511万円	84.5%

南丹市の水道事業では、独立採算を原則とした会計(企業会計)を設けています。この会計では水道料金を主な財源として事業を運営しています。

## 企業会計予算の執行状況

新緑につつまれたかやぶき美術館(左)と郷土資料館(右)▼

# ト大集合!

—ゴールデンウィーク中の  
イベントをお伝えします—

さわやかな風の吹く新緑の季節、南丹  
市内の各地では、豊かな自然を楽しんだ  
イベントが行われました。



## 美山かやぶき美術館 春まつり

今年で二回目となる南丹市美山かやぶき  
美術館で行われた春まつり。もちつき体験  
や地元で採れた野菜の販売、山菜の天ぷら  
などの露店が並び、訪れた観光客と地域の  
方が楽しく交流しま  
した。



▲もちつき体験では、自分がついたもちを食べました

### 5月4日~5日



▲地元の新鮮野菜などが並びました

### 4月29日

## 氷室の郷 わんぱくDAY



▲快晴に恵まれた「わんぱくDAY」

氷室の郷で行  
われたわんぱく  
DAY。地元で



▲つきたてのもちにあんこを詰めて完成



▲模様を付けて自分だけのエコバッグ作り

採れたヨモギを使ってのもち  
つきや、いろいろな模様を付  
けたオリジナルエコバッグ作  
りなどの手作りのイベントに、  
集まった子どもたちも楽しみ  
ながら、自然保護に向けた活  
動を学んだ一日でした。



▼京都伝統工芸大学校を訪問したイタリア人学生も祭りに参加



5月3日

# 春のイベント

## そのべ龍神まつり



▲爽龍隊による「よさこいソーラン」

今年で二十回目を迎えた龍神まつり。工夫を凝らした各地域のみこし二十五基がシンボルロードに集まりました。また、園部吹奏楽団・園部高校吹奏学部によるコンサートや、よさこいソーランなどで、会場は盛り上がりました。



▲伝説の龍の舞い



▲園部吹奏楽団・園部高校生によるコンサート



▲親子共演で盛り上げた小山太鼓



▲親子で体験、竹の水鉄砲づくり

馬体験など、自然を満喫していました。

# 府民の森 ひよし新緑祭

多くの家族連れが訪れ、「チェーンソーアート」



▲家族連れのテントもたくさん並びました



▲丸太に彫刻をする「チェーンソーアート」



▲京都府警平安騎馬隊による乗馬体験



## 災害に備えた計画を考える —第2回南丹市防災会議—

五月十六日、「第二回南丹市防災会議」を市役所で行いました。

国や京都府、消防、警察、各教育機関、各公共機関、市役所など二十一団体から三十三人が出席した会議では、三月に策定した「南丹市防災計画」について、計画の内容が確認されました。

これを基に、南丹市では地域の災害予防および災害時の対策、災害復旧を計画的に実施し、市民の生命と財産を守ります。



▲災害時に市民の安全を守る計画が検討されました

同会は南丹市の美しい景観と住みよい環境づくりによるまちづくりを目的に、本年二月に設立されました。総会では、高井豊会長が「社会の移り変わりに対応しながら、美しい南丹市の環境を守っていきましょう」とあいさつ。その後、今年度の事業計画として、ゴミゼロ街頭啓発や美化活動などを行うことが決められました。

### 美しい南丹市の環境を守る —南丹市の環境を守る会—

守り育てる会総会

五月十八日、「南丹市の環境を守り育てる会」の総会が市役所で行われ、二十九人の会員が出席しました。



▲今年度の事業計画が決められた総会

### 自分のペースで伸び伸びスポーツ —障害者ふれあい広場—

五月二十日、「第四十一回障害者ふれあい広場 スポーツレクリエーションフェスティバル」が京丹波町の京都府立丹波自然運動公園で行われ、ボランティアを含めた参加者三千八百人が競技を楽しみました。

障がいのある人の社会参加を促し、交流を深めることを目的に開催された大会に、南丹市からはおよそ百二十人が参加。玉入れやパン食い競走など、参加者は思い思いのペースで伸び伸びと体を動かし、競技を楽しみました。



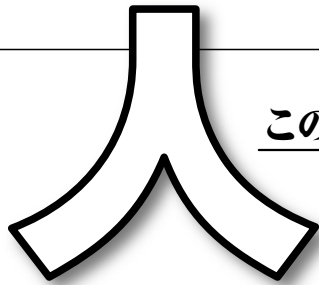
▲パン食い競走などで交流を深めました

南丹市の生活環境、自然環境、景観の維持保全を図り、美しいまちづくりを推進する「南丹市美しいまちづくり条例」の主旨に基づいて、地域の環境保全と市民の健康増進に取り組む、環境美化推進委員会が園部・八木・日吉・美山で行われました。委員会では、船井郡衛生管理組合の職員から、ゴミの正しい出し方や、ビニール類などリサイクルするための分別方法について説明され、参加した委員は熱心に説明を聞いていました。

### 市の環境保全と市民の健康増進 —環境美化推進委員会—

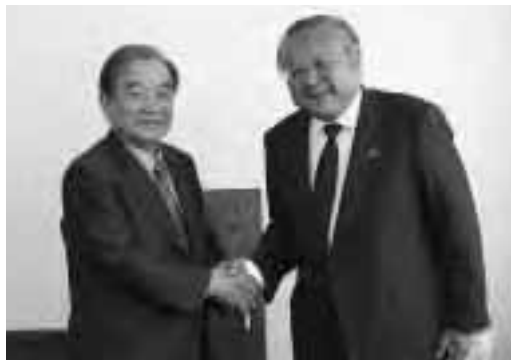


▲日吉支所で行われたゴミの分別についての研修会



この道☆ひと筋

春の叙勲  
褒章受章者



▲佐々木市長に受章報告される谷利静夫さん(左)

たにかが  
静夫さん(園部町・71)

昭和六十年から二十二年間、園部町農業協同組合専務理事や広域合併後のJA代表理事理事長などを歴任され、農協運動を通じて地域農業の振興と生活の安全向上に尽力。営農組織の育成・アグリバイオセンターやたい肥センターなどの施設を整備し、足腰の強い農業を確立されました。また、有機低農薬栽培の「れんげ米」や「みず菜」「壬生菜」など京野菜のブランド化に大きな成果を挙げられました。



「学校教育の円滑な遂行に尽力」

黄綬褒章

いぬいし てつぞう  
犬石 哲三さん(園部町・74)

地域の小・中学校への教科書の供給業を、今日まで五十年以上にわたり続けてこられた犬石さんは、「地域の将来を担ってくれる子どもたちが、たくさんのことを学ぶための

高齢者叙勲

「八木のまちづくりに尽力」

むらかみ さぶろう  
村上 三郎さん(八木町・87)



昭和四十二年十一月に八木町議会議員に初当選後、昭和五十四年十一月までの三期十二年にわたり、八木町の発展に大きく貢献され

教科書なので、供給漏れや遅れなどが無いように」と、地域の学校教育の円滑な遂行に尽力されました。「責任を持って、教科書供給業を続けていきたい」とのことばに、地域の教育振興を願う熱い思いが込められています。

近畿行政相談委員連合  
協議会会長表彰を受賞

もり けんたろう  
森 健太郎さん  
(美山町・68)

行政相談委員の森健太郎さんが近畿行政相談委員連合協議会会長表彰を受賞されました。森さんは、平成七年から行政相談委員として行政相談委員制度の発展に寄与され、その長年の業績が認められての受賞となりました。



ました。同和問題や社会教育の充実に取り組まれたほか、地域のバス路線の整備や基幹交通網の整備、地域防災など住民の安全対策に努めてこられました。

# いきいき南丹

—15—  
お元気ですか?  
保健師です。



## 日々の生活を生かして 防ごうメタボリックシンドローム!

最近では過食、運動不足などによって内臓脂肪が蓄積し、高血圧、高脂血、高血糖など複数の生活習慣病を併発する人が増えています。このような状態をメタボリックシンドロームと呼び、多く合併するほど動脈硬化を促進して脳梗塞や心筋梗塞などを起こしやすくなります。

### ●自分の腹回りを測ってみましょう

「へそ」の上の周囲（腰の一番細いところではありません）が、男性で八十五センチ以上、女性で九十センチ以上あり、高血圧、高脂血、高血糖のうち二つ以上が当てはまると、メタボリックシンドロームと診断されます。

### ●内臓脂肪は減らせる!

メタボリックシンドロームは海に浮かぶ氷山に例えられます。

す。水面に浮かぶ個々の氷頂（高血圧、高脂血、高血糖）は小さくても、水面下には大きな氷山（内臓脂肪）が隠れています。表面の頂を削っても土台である氷山の大きさは変わりません。氷山自体を小さくするためには、まず土台となる内臓脂肪を減らす事が大切です。

内臓脂肪は容易にたまるものの、比較的燃焼もしやすいので、日々の食事や運動を心がければ減らす事が十分に可能です。

### ●さあ！実践してみましょう

メタボリックシンドロームの予防・解消は「一に運動 二に食事 しっかりと禁煙 最後にクスリ（厚生労働省より）」です。運動や食生活を見直すことで、内臓脂肪は減らせます。

### ●運動で内臓脂肪を解消

運動は体力を養い、心肺機能や抵抗力を高めるだけでなく、内臓脂肪を減らす効果的な方法です。「筋力トレーニング」「ストレッチング」を体の状態に合わせて組み合わせましょう。運

## 栄養バランスのよい食事の例



動する時間がとれない、体調の都合で運動はちよつと...という人には家事や育児、通勤のための歩行など、普段の生活の中で体を動かして、脂肪を燃焼させるのも効果があります。毎日、続けられる運動から始めてみるというでしょう。

### ●栄養バランスのよい食事

食生活のポイントには「主食、主菜、副菜」をそろえたメニューに加え、適量の乳製品や果物です。野菜やきのこ、海藻を中心にいろいろな種類の食品をバランスよく食べましょう。

# ぶらり

なんたん 15

## くほんじ ～九品寺(大門、仁王像)～

### 朱塗りの門と仁王像が守り続ける平安

朱塗りの大門がひとときを引く、園部町船阪の鴨尾山九品寺。

弘仁元年(八一〇)、弘法大師の開基とされる九品寺は、平安時代の承暦三年(一〇七九)に白河天皇が自らの勅願寺として、再建されました。

この大門(仁王門)は三間一戸の楼門で、国の重要文化財に指定されています。門の両端には、市の文化財である仁王像が二体、寺に悪しきものを入れまいとにらみを利かせて構えています。口を開けた方が阿形「あぎょう」、固く



▲仁王像の阿(あ)形と吽(うん)形(市指定文化財)

結んだ方が吽形「うんぎょう」で、物事の始まりと終わりを表すともいわれています。門をくぐると、かつて七堂伽藍を擁したという広い境内が、日常の煩雑さを解き放ち、訪れる人々の心を平安へと引きません。四季の木々や花、風を感じながら、深く山水をたたえる坂道を登ると、数々の観音像が立ち並び、さらに階段を登った山上にどっしりとした本堂が姿を見せます。心のよりどころとされた九品寺は、時代の変遷を越えてなお仁王門に守られています。



▲九品寺大門(国指定重要文化財)

### ぶらり案内



九品寺住職 芝 崇弘 さん

九品寺のご住職、芝 崇弘さんに話をお伺いしました。

「九品寺は、古い歴史のあるお寺で、遠くからも朱塗りの大門を見に訪れていただきます。私はこの地を、お寺として仏事のお付き合いのみではなく、どなたにとっても癒やされ、安らぎを感じていただける場所でありたいと思います」

とても落ち着いた雰囲気のある九品寺の境内は、自然と調和した手入れがされていました。毎年、7月の土用の丑(うし)の前日にはお祭りがあり、厄除けとして境内で配られるヒバの枝を求めて参拝者が訪れるそうです。

### 九品寺のお話

昔むかし、白河天皇の皇后さまが身ごもられたときのお話です。

安産を祈願し、名高いお坊さんにお祈りしてもらいましたが、産月になってもなかなか出産の兆しがありません。

皆が心配する中、はるか西方から金色の光が差し、不思議に思った白河天皇がその光を追うと、紫雲たなびく九品寺山上に三面千手観音像があったそうです。

白河天皇は、直ちにその地に立派な観音堂を建て、観音像を安置されたところ、皇后さまは無事、皇子を出産されました。大変喜ばれた白河天皇は、感謝の印に、阿弥陀堂をはじめ、七堂伽藍を建立されたそうです。

その後、戦火により当時の建物は焼失してしまいましたが、大門と呼ばれる仁王門が残り、かつての様子を守り伝えています。

参考文献「園部一〇一年記念誌」  
ほか

「JR船岡駅周辺案内図」が園部町船岡の同駅前設置され、4月28日に地域住民らが集まって、設置完成式が行われました。

これまで、同駅前には周辺の観光や商店などの案内図が無かったため、地域の有志らの呼びかけにより作られたものです。案内図は高さ1.8m、幅2.7mで、大堰川を中心に、スプリングスひよしや、八木町船枝の京都帝釈天、京都新光悦村などの案内や、地域の商店・学校・集会所といった、周辺の生活文化を踏まえたものとなっています。

(4/28・「JR船岡駅周辺案内図」設置完成式)

## 「JR船岡駅前に 周辺案内図が完成」



▲完成した周辺案内図

## 「南丹が誇る 画家の作品にふれる」

(企画展「ふるさとの画家 麻田辨自」)



▲ふるさが誇る画家の作品に見入っていました

4月28日から5月27日にかけて、南丹市立文化博物館で平成19年度春季企画展「ふるさとの画家 麻田辨自」が開催されました。

明治32年、京都府船井郡富本村(現：南丹市八木町西田)で生まれた麻田辨自氏(享年84歳)は、即妙な写実的表現による花鳥画で戦前・戦後に活躍された画家です。今回の展示では、青年期の作品やスケッチ、版画なども出展され、訪れた方たちは、地域を代表する画家の作品に見入っていました。

# みんなのひろば

## まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

## 「九百三十人の選手が美山ロードを駆ける」

(5/27・二〇〇七美山サイクルロードレース)

国体京都府予選会を兼ねて行われる「美山サイクルロード」が、全国地域別自転車道路競走大会近畿地域大会や近畿高等学校自転車競技選手権大会とあわせた大会として、南丹市役所美山支所前をスタート・ゴールとするコースで開催されました。

参加者は京阪神を中心に、遠くは徳島県などから男女あわせて930人が登録し、年齢や競技レベル別に14部門に分かれて、タイムを競いました。

国道162号線にある九鬼ヶ坂峠を越える1周10.7kmの周回コースは、高低差が110mもあり、選手にとっては厳しい九鬼ヶ坂峠をどう攻略するかが勝敗を決めます。

大会は、登録上級者の部(7周)で秋田謙選手(TACURINO-MBK所属)が1時間48分55秒で初優勝しました。



▲新緑の中を走り抜ける選手たち



▲紙芝居に夢中になる子どもたち

読書ボランティア「夢のひこうせん」の1周年記念おはなし会が、八木図書館で行われました。「夢のひこうせん」は、昨年2月に結成されたグループで、図書館のつどいや小さい子のおはなし会で読み聞かせの活動を行っています。

集まった子どもたちおよそ50人は、読み聞かせに物語の情景を思い描き、紙芝居では、豊かな表情を見せながら、夢中になって聞いていました。

## 「『夢のひこうせん』

## おはなし会が1周年」

(5/13・八木図書館おはなし会)

美山町榎原地区にある大原神社で春の例祭が行われました。大原神社は仁寿2年(852年)に創立とされ、安産と五穀豊穡の守り神として古くからあがめられてきました。

例祭では、氏子の青年・壮年の人たちがみこしをトラックに乗せて、地域を巡行。また、途中の大野公民館では、地域の方が集まって祭事を行い、五穀豊穡を祈りました。



▲みこしは大野地域全てを巡行

## 「今年の五穀豊穡を祈る祭り」

(4/29・大原神社「春の例祭」)

## 「好みの形の花瓶を作る」



▲思い思いの花瓶を作る参加者

自分の好みの花瓶を作る「陶芸教室」が南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」で行われ、子どもからお年寄りまでおよそ20人が参加しました。

参加者は、粘土を使って、思い思いの形に花瓶を作り、模様を付けて作品を完成させていきました。出来上がった花瓶は、乾燥させた後、氷室の郷にある窯で焼かれ完成します。また、出来上がった花瓶を使って、季節の花を飾る教室も行われる予定です。

(5/12・氷室の郷「陶芸教室」)

## 「プロ野球OBによる野球教室を開催」

(5/5・第十三回カルピスこどもの日全国少年野球教室)

社団法人 全国野球振興会が主催する「第13回カルピスこどもの日全国少年野球教室」が南丹市園部公園スポーツ広場で行われ、市内の小・中学生や少年野球の指導者、中学校女子ソフトボール部員ら427人が参加しました。

野球教室は、元阪神タイガース監督の吉田義男さんら10人のプロ野球OBが、講師として子どもたちを直接指導されました。参加した子どもたちは、ポジション別に分かれて、走塁や守備、ピッチング、バッティングの指導を熱心に受けていました。



▲熱心に指導を受ける子どもたち



畑郷ふれあい農園「植付祭」

6月3日に日吉町畑郷で行われた毎年恒例の「植付祭」に大阪や神戸などから120人の親子連れが参加しました。田植えやサツマ芋、黒大豆の植え付け体験を通じて地元の人と交流し、子どもたちに農業の大切さを伝えています。

近年、自動車事故の原因として、運転中の携帯電話の使用や、カーナビの脇見による事故が増えています。技術の進歩で便利な機械が増えましたが、それを利用する側のマナーとモラルも大切です。くれぐれも事故を起こさないように安全運転を心掛けていただき、南丹市交通安全計画が掲げる交通事故ゼロをめざしましょう。

(S)

編集後記



美山町 すみれ 純美礼ちゃん(1歳7カ月)  
岩間

「明るく優しい女の子に育ってね」

(おばあちゃんより)



総人口：35,871人(-21)  
(男：17,242人・女：18,629人)  
(-3) (-18)  
世帯数：13,564世帯(+11)

(平成19年6月1日現在)  
( )内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは企画情報課秘書広報係まで

広報  
なんたん

編集・発行：南丹市役所 総務部企画情報課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0003 FAX：0771-63-0653  
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp  
e-mail：kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインク(大豆油)で印刷しています。